

1 観光地域づくりの実践

施策	事業	事業評価
1-1 観光情報の効果的な発信	1-1-1 共通のコンセプトに基づく観光情報の発信 ・市ホームページやJR長野駅における映像での情報発信 等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ収束後を見据え、YouTubeやInstagram、Twitter、Facebookなど、様々なソーシャルメディアを活用した情報発信が各観光協会で行われた。
	1-1-2 ターゲットに向けた効果的な情報発信 ・SNSを活用した観光情報発信 等	
	施策評価	<ul style="list-style-type: none"> ・各観光協会が動画やソーシャルメディア等を活用し、情報発信を進めている。今後、ターゲットやツールの特性にあわせた情報の拡散に向けた工夫や、タイムリーな情報発信を行い、効果を高め、更にファン（フォロワー数）を増やしていくことが求められる。
1-2 地域資源の磨き上げによる魅力向上支援	1-2-1 「長野市ならでは」の食事やお土産（飲食物）の開発支援 ・マツシロックプロジェクト ・動画制作ワークショップ 等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、地域との連携が取りにくい状況であったが、地域資源を活用した新たな土産の開発が進み、商品化することができた。新商品は、本市の土産品として認知されるよう発信していくとともに、定着化に向け、改良（サイズ、味、値段等）していくことが求められる。 ・長野市の魅力発信として、SNSを活用した動画コンクールを実施し、若者世代に発信を行った。長野市の新たな魅力発見・発信につながった。引き続き、効果を高めていく必要がある。
	1-2-2 市内滞在時間延長のための善光寺界限、戸隠、松代を起点とした周遊コンテンツ開発 ・（善光寺界限）リアル七福神 ・（戸隠）戸隠神社早朝お掃除体験、行動食の販売 ・（松代）松代朝市、ロクモンGO 等	<ul style="list-style-type: none"> ・善光寺界限、戸隠、松代の作業部会（以下、作業部会）等でのコンテンツ開発は、新型コロナウイルス感染症の影響で、部会やツアー等の開催ができず、多くが計画通り進まなかった。 ・そのような中であつたが、戸隠作業部会の「戸隠神社早朝お掃除体」は、戸隠観光協会に引継がれ、地域で持続可能なスタイルで続けていく体制づくりが整った。
	1-2-3 スポーツや文化芸術、文化財などを切り口としたコンテンツ開発 ・真田邸ライトアップ「幻奏」 ・サイクルツーリズム事業 等	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術等を活用しながら、文化財を観光コンテンツ化し、集客につなげる取組みが増えてきている。 ・サイクルツーリズムも地域内での連携が進み、下地が整ってきた地域もある。 ・庁内各課、観光事業者と情報共有・連携を行い、既存の観光資源や施設の見直し、有効活用を引き続き進めていくことが求められる。
	1-2-4 未活用の地域資源を活かした新しいコンテンツ開発支援 ・鬼無里フットパスによるまちづくり事業 等	<ul style="list-style-type: none"> ・住民、NPO等と連携し、身近な地域資源を活用した新たな観光コンテンツづくりが形になってきている。 ・引き続き、地域の歴史・文化など長野ならではのコンテンツに目を向け、観光地域コンテンツとして、磨き上げを進めていく必要がある。
	施策評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、観光コンテンツの磨き上げが計画通り進まなかった。コロナ収束後を見据え、市内の様々な地域資源に観光コンテンツとしての磨き上げや開発を行い、来訪を促す取組みを進めていく必要がある。
1-3 観光都市を実現するための人材育成・体制整備	1-3-1 観光リーダー育成支援 ・長野市観光振興計画アクションプラン作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、部会の開催ができなかった。また部会員により、意識に大きな差があるため、今後、組織や手法の検討が重要である。
	1-3-2 観光関連事業者間連携・受入体制構築支援 ・戸隠の交通渋滞対策 ・戸隠観光協会ガイド部の構築 等	<ul style="list-style-type: none"> ・受入体制では、戸隠での交通渋滞対策など試みが始まっており、引き続き検討を進めていく。 ・観光の質を左右するガイド面においても強化が進む地域が出てきている。ニーズに対応するガイドツアーに対応できるガイドの養成が必要である。
	1-3-3 おもてなし意識の醸成 ・長野市未来共創事業（サイクルツーリズムセミナー） 等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、研修が中止となった。感染状況に応じて、オンラインによる非接触の手法を導入した研修の実施などの工夫が必要である。
	施策評価	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況に応じて、オンライン講座など工夫を行いながら、観光人材の育成を進めていく必要がある。

2 広域連携とハブ機能の強化

施策	事業	事業評価
2-1 広域連携による誘客活動の推進	2-1-1 広域周遊観光促進のためのプロモーション・コンテンツ開発 ・松本市、上田市との連携事業 ・集客プロモーションパートナー都市協定 等	・コロナ収束後に向けた新たな観光スタイルに合わせた広域周遊観光の促進に向け、関係自治体等との情報共有を進め、さらに効果的な誘客となるよう、取組みを進めていくことが求められる。
	2-1-2 ハブ機能強化に向けた長野市観光情報センターの強化検討 ・長野市観光情報センター運営	・コロナ収束後のインバウンド回復期に向け、県内外の観光地に向かう観光客への案内やチケットの販売など、案内力や利便性の向上に努めることが重要である。 ・また、まち歩き観光の拠点としてチケット・クーポンの販売促進を進めていく必要がある。
	施策評価	・関係自治体等との連携を強化し、広域周遊観光の促進に向けた取組みを推進し、更なる誘客を目指していくことが必要である。 ・長野市の玄関口であり、ハブとなる観光情報センターの機能を研修等により一層高めていくことが求められる。

3 地域資源に根ざしたインバウンドの推進

施策	事業	事業評価
3-1 インバウンド推進のためのプロモーション・コンテンツ開発	3-1-1 ターゲット市場への情報発信力の強化 ・海外でのオンラインでの観光プロモーション	・コロナ禍における新たなオンラインでの観光プロモーションなどの、新たな試みが行われた。 ・新型コロナウイルス感染症終息後のインバウンド回復期に向け、「スノーモンキー」や「HakubaValley」、「立山黒部アルペンルート」など、集客力が高いエリアと連携したプロモーションの準備を行う必要がある。また長野市内の宿泊に繋がるような効果的な取組みを進めることが求められる。
	3-1-2 外国人観光客が楽しめる観光コンテンツ開発 ・善光寺イルミネーション、灯明まつり・松代ツアー ・旅行代理店等と連携したツアーの造成 等	・新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業が実施できなかったが、感染状況を注視しながら本事業の実施等により誘客を図る必要がある。 ・一層の誘客に向け、外国人観光客のニーズを掴んだコンテンツづくり、近隣市町村と連携した誘客促進の取組みが必要である。
	3-1-3 広域連携によるコンテンツ開発・プロモーションの実施 ・信越高原連絡協議会（妙高市、信濃町、飯綱町） ・金沢市との連携による海外メディア招聘事業 等	・新型コロナウイルス感染症の影響で、商談会への出店やツアーの催行ができなかったが、近隣市町村と連携し、重点ターゲット国であるタイの誘客に向け、動画配信等を行い、一定の成果を得ている。 ・感染状況を注視しながら、安定的な誘客につながるよう、関係自治体等と連携したプロモーションを展開していく必要がある。
	施策評価	・外国人観光客が再び日本を訪れるようになるには数年かかると言われている。コロナ収束後の目的地として選ばれるよう、動画配信など、新たな手法でのプロモーションを継続的に行っていくことが必要である。また、コロナ収束後に求められる外国人旅行者向けの新しいコンテンツづくりを関係自治体と連携し、進めていく必要がある。
3-2 外国人観光客受入環境整備	3-2-1 主要観光地・主要施設、主要観光コンテンツの多言語化促進 ・各種外国語パンフレットの作成	・外国語パンフレットの整備等により、外国人観光客の受入環境の整備は進んでいる状況にある。 ・引き続き、配布の工夫などを行い、市内でスムーズな観光ができるような取組みを行う必要がある。また、デジタル化を活用した取組みも進めていく必要がある。
	3-2-2 主要観光地におけるWi-Fi環境整備の検討 ・Wi-Fiのアクセスポイントを設置	・引き続き、利用状況や外国人観光客の意見等を踏まえ、必要に応じて維持管理や整備をしていく。
	施策評価	・外国人観光客が快適に滞在できるための受入環境整備が進んでいるが、引き続き市内でストレスなく旅行が楽しめるよう、外国人観光客目線で、受入環境の整備を今後も継続していくことが必要である。
3-3 インバウンド対応人材の育成	3-3-1 外国人観光客受入意識の向上 ・観光事業者養成塾、未来共創事業	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	3-3-2 インバウンド専門人材育成支援 ・長野市ガイド協会インバウンドプロジェクト	感染対策に努めながら少人数で英会話講座を実施
	施策評価	・新型コロナウイルス感染症拡大により、各種研修が中止になった。コロナ収束後のインバウンド需要の回復に備えて、引き続き、関係者との連携の強化や受入意識の向上につながる取組みを実施していくことが必要である。

4 特色あるコンベンションの誘致促進

施策	事業	事業評価
4-1 コンベンション 誘致強化	4-1-1 スポーツ・文化芸術などに関連するコンベンション等の誘致活動 ・コンベンション誘致活動 ・スポーツ大会開催支援金 等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ収束後に向け、本市の優位性を活かした誘致に努めていく必要がある。 ・また、コロナ禍でも継続的に開催されているスポーツ大会・合宿の誘致は引き続き行っていく必要がある。
	4-1-2 コンベンション等参加者への観光情報の発信 ・コンベンション等参加者への観光情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション等の参加者に対して、観光情報等を効果的に提供し、周遊を促進してきた。引き続き、情報提供を継続して、滞在時間の延長を促すきっかけづくり、再来訪を促すことが求められる。
	施策評価	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンションの誘致は、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、参加人数は大幅に減少した。対面での開催が比較的多い中小規模コンベンションの誘致など、ターゲットを絞り、引き続き情報発信を強化し、誘致に努める必要がある。また、オリンピック関連施設で開かれるスポーツ大会のブランディングを行い、差別化を図っていくことが必要である。 ・また参加者の市内周遊の促進に向けた取組みをより一層、強化していくことが必要である。
4-2 フィルムコミッション の強化と観光への 活用	4-2-1 ドラマや映画の舞台となるような作品の誘致 ・フィルムコミッション支援	<ul style="list-style-type: none"> ・映画・ドラマ・CM等の撮影について製作支援することにより、映像を通じて市の知名度を向上させ、誘客推進が図られている。
	4-2-2 これまで撮影されたドラマや映画情報のPR ・これまで撮影されたドラマや映画情報のPR	<ul style="list-style-type: none"> ・過去支援作品である、アニメ「長門有希ちゃんの消失」(2015)が「訪れてみたい日本のアニメ聖地88(2019年度版)」に選出される等、PRが図られている。 ・これまでに誘致した作品情報を収集し、再度PRに取り組む必要がある。
	施策評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラマや映画等の舞台となり、作品が評価されると、国内及び世界的なプロモーションにつながる可能性がある。首都圏等からのアクセスの良さや多様な地域資源、受入側のサポート体制(各種交渉など)などの強みをPRし、撮影誘致を積極的に進めていくことが必要である。また、公開後の作品の評価も収集し、相乗効果が得られるようなプロモーションとしていくことが求められる。

5 計画の効果的な実行

施策	事業	事業評価
5-1 関連情報収集、施策 評価の実施	5-1-1 統計情報の定期的収集とそれに基づく事業評価 ・観光客へのアンケート調査実施 等	<ul style="list-style-type: none"> ・指標となるデータの収集を行い、客観的視点から観光振興計画の進捗状況を把握し、各事業が観光振興計画の指標の達成に資するものとなっているか、今後も定期的に評価検証を行っていくことが必要である。
	施策評価	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な目標値が設定され、達成状況、未達の場合の要因などを分析することで、施策や事業を改善するPDCAサイクルが確立した。ただし、KPIを審議会で評価するタイミングが翌年度の秋であり、スピーディーにデータを収集し、評価・検証を行う仕組みも検討していく必要がある。
5-2 庁内・関係機関との 連絡調整・事業コー ディネート	5-2-1 関係者と連携した事業実施に係る進捗共有 ・庁内における関連情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携を図りながら、観光振興計画の指標の達成に向け、各事業の推進することが必要である。
	施策評価	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ収束後を見据え、更なる庁内関係課や観光関連事業者など関係者との情報共有を行い、事業立案を行うとともに、事業の効果検証を行い取組みを進めていくことが必要である。